

停電時の使い方（自立運転）

- 蓄電池用分電盤の切替スイッチが「蓄電」側になっていることをご確認ください。「系統」側になっている場合は「蓄電」側に切り替えてください。停電が発生した場合、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を自立運転に切り替えてください。蓄電システムは特別な操作は必要ありません。

停電時の室内リモコンの表示は下図のようになります。



- ※ 停電時の動作中に太陽光パワーコンディショナに「E0」あるいは「STOP」などの点検コードを表示する場合があります。その場合は、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を再度、自立運転に切り替えてください。

停電時の家電製品の利用について

■ 非常時兼用コンセントの定格出力は、2000 VA（目安：2000 W）です

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、非常時兼用コンセントで定格（2000 VA）を超える電力を使用されると、内部の安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージを表示して、非常時兼用コンセントへの給電を停止します。

下記の家電製品は、非常時兼用コンセントへの接続を避ける、または注意してください。

途中で電源が切れると困る家電製品	接続禁止	医療機器、デスクトップ型パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ等

- ・途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。
- ・突入電流が大きい家電製品は一部動作しない場合があります。
- ・消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らす等、非常時兼用コンセントの定格を超えないように工夫してください。太陽光発電連携時の定格は 1500 VA（目安：1500 W）になります。
- ・もし、安全装置が作動してしまった場合は、室内リモコンのメッセージに従って、接続している家電製品の数を減らして、システムを再起動させてください。
- ・エアコンや IH キッキングヒーターなどの 200 V 家電製品は使用できません。

■ 下記の家電製品を最大 21 時間利用可能[※]です

接続家電製品例

- ・冷蔵庫：120 W
- ・液晶テレビ：170 W
- ・リビング用 LED シーリング照明：100 W
- ・ノートパソコン、ルーター等：30 W
- ・携帯電話充電（2 台）：10 W
- 合計：約 430 W

- ※ おおよその目安です。実際のご使用では、蓄電池の充電量、その他の条件で変わります。



非常時（停電時）の設定をする

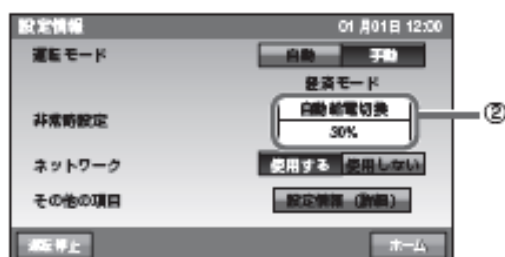
もしも停電になったときのために、非常時設定や非常時安心設定をお客様のお好みに合わせて選択してください。

- 製品出荷時の設定は次のとおりです。
「非常時設定」：[自動給電切換]
「非常時安心設定」：[30 %]

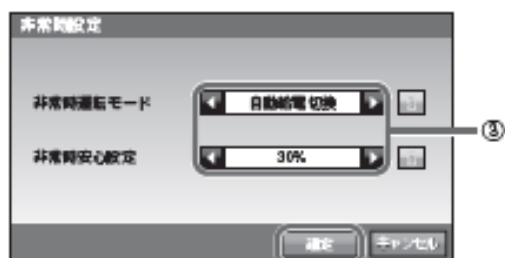
- ① 設定情報画面に切り替える
[設定] をタッチします。



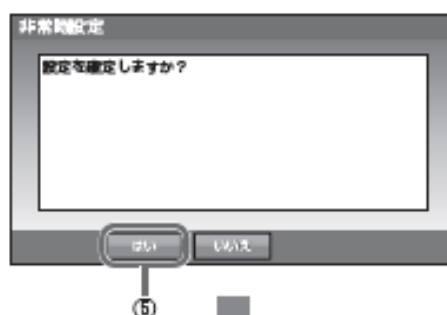
- ② 非常時設定を選択する
設定したい項目をタッチします。



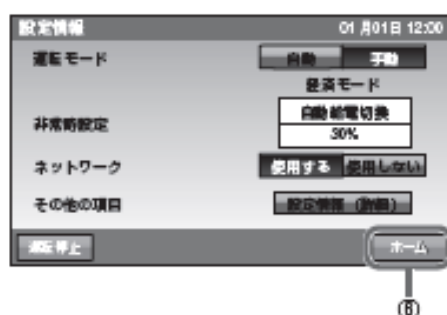
- ③ 設定を変更する
◀/▶をタッチします。
- ④ 変更した内容を確定する
[確定] をタッチします。



- ⑤ 設定を保存する
[はい] をタッチします。



- ⑥ ホーム画面に戻る
[ホーム] をタッチします。



非常時設定	次ページをご覧ください。
非常時安心設定	<p>停電時に蓄電システムから非常時兼用コンセントへの給電ができるように、通常時の利用を指定蓄電池残量までに制限する設定です。指定蓄電池残量を下回ると給電を停止します。</p> <p>指定できる蓄電池残量は0(OFF)、30%、40%、50%、60%、70%です。蓄電池残量が設定値+5%未満の場合、誤作動防止のため、給電を開始しません。</p>

(次ページに続く)